

時間割コード	GIB1A101	開講年度	2026					
授業題目	統計リテラシー【EA】					担当教員	平井 佑樹	
英文授業名	Statistical literacy						永井 康史・太田家 健佑	
単位数	2	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	ShinXiaコース希望者が優先	
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当	備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P							
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	確率・統計のごく基本的な概念について理解できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム	ShinXiaコース(ShinXia)							
(4)授業の概要	まず記述統計を扱い、表やグラフ、平均や標準偏差を用いてどのようにデータを整理して情報を引き出すかについて学習する。次に確率論の基本的な考え方について学び、大数の法則と中心極限定理について学ぶ。重要な確率分布として正規分布とt分布、カイ二乗分布も学ぶ。その後、推測統計について習熟する。すなわち、知りたい対象の一部分のデータしか得られない場合に、どのように対象全体の性質について推測するかという問題を、区間推定を理解することにより学ぶ。							
(5)授業のキーワード	記述統計、推測統計、確率、正規分布、区間推定							
(6)授業計画	第1回 度数分布表とヒストグラム 第2回 代表値（1） 第3回 代表値（2） 第4回 データの加工 第5回 2次元のデータ 第6回 確率変数（1） 第7回 確率変数（2） 第8回 期待値と大数の法則 第9回 確率変数の分散 第10回 連続型の確率変数 第11回 中心極限定理 第12回 その他の連続型確率分布 第13回 推測統計（1） 第14回 推測統計（2） 第15回 推測統計（3） ※授業アンケートを実施する							
(7)成績評価の方法	全15回の中で10回の小テストを実施し、その合計点で評価する。							
(8)成績評価の基準	成績評価の方法で示した合計得点において、 ・90点以上：秀（卓越している） ・80点以上90点未満：優（かなり上にある） ・70点以上80点未満：良（やや上にある） ・60点以上70点未満：可（その水準にある） ・60%未満：不可							
(9)事前事後学習の内容	・事前学習：講義動画で表示されるスライドや補足資料（いずれもShinXia-LMS上で提供）の内容を一通り確認する。 ・事後学習：演習課題に取り組み、必要に応じて講義動画を再視聴するなどにより、学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。 ※この授業は90時間の学習を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(10)履修上の注意	・各回の講義動画で表示するスライドをShinXia-LMS上で提供するが、スライドに書かれていない解説を聞き逃さないこと。必要に応じてスライドを印刷し、解説をよく聴いてメモを取り、理解を確かめながら授業に臨むこと。分からないところは授業後に質問すること。 ・いかなる理由でも小テストを受験できなかった場合の救済は行わない。ただし、担当教員に責任がある場合や、出席停止や入院等の理由で各大学の事務担当者から配慮依頼があった場合は適切に対応する。 ・本科目は「基盤系（統計）／統計学入門」と内容が重複しているため、重複履修しないよう注意すること。							
(11)質問、相談への対応	原則、メールで随時受け付ける（授業回ごとに担当教員が異なるため、メールアドレスはShinXia-LMS上に掲載）。ただし、ShinXiaコースに関する履修案内で、質問・相談方法等が示されていればそれに準ずる。							
(12)授業への出席	原則、出席は確認しない。ただし、ShinXiaコースに関する履修案内で、出席についての基準等が示されていればそれに準ずる。							
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	出席を確認しないため、原則、補充対応は行わない。ただし、ShinXiaコースに関する履修案内で、学修の補充に関する記載があればそれに準ずる。							

【教科書】	指定しない。
【参考書】	小島寛之,『完全独習 統計学入門』, ISBN4-478-82009-0, ダイヤモンド社